

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>産業経済局</b>
-----------	--------------

<b>基本計画</b>	<b>柱</b>	いきいきと働く	<b>担当局 / 総務担当課名</b>	<b>産業経済局</b>	<b>産業政策課</b>
	<b>大項目</b>	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進			
	<b>取組みの方針</b>	若者・女性・中高年齢者などの就業支援			
	<b>連絡先</b>	582-2299			

21年度計画

-3-(2)-

<b>施策名</b>	<b>若者の地元就職支援</b>
------------	------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	若者ワークプラザ北九州の機能の充実を図るとともに、企業に対する正規雇用の働きかけを行い、若者の地元就職支援を行います。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	若者・女性・中高年齢者などの就業支援

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成21年度		年度	平成25年度	年度	平成25年度
若年者の就職数(若者ワークプラザ北九州利用者の就職決定数)	年度	平成21年度	実績	800 人	年度	平成25年度	目標値
若年者の就職を支援を表す指標として、若者ワークプラザ北九州(小倉・黒崎)の利用者のうち、就職が決定した人の数を指標に設定しました。	現状値	924人	実績	924 人	目標値	1,100人	
			達成度	115.5 %			
若年者求人開拓獲得求人数	年度	平成21年度	計画	2,000 人	年度	平成25年度	目標値
直接の就職支援の他に、より多くの求人を獲得することが、若年者の職業の選択肢を広げ、マッチング成立件数の向上につながると考え、指標に設定しました。	現状値	1,977人	実績	1,977 人	目標値	2,000人	
			達成度	99.0 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
<b>コスト</b>	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費		108,184 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
		うち一般財源		84,736 千円	14,805 千円		

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>B</b>	若年者の就職者数について、平成21年度は計画800人に対して、実績が924名と115%の達成度となり、一定の成果を残すことが出来ました。若年者求人開拓獲得求人数については、平成20年秋以降の世界的な経済不況の影響を受け、実績が計画を下回る結果となりました。しかし、今回の経済不況が与えた影響の大きさを考慮すると、この指標についても一定の成果を残すことができたと考えます。
<b>今後の局施策の方向性</b>	若年者の就職者数は計画が実績を上回っており、今後も引き続き積極的な推進を図っていきます。若年者求人開拓獲得求人数については、今後の経済状況を見極めながら、若者ワークプラザ北九州の特色をPRするなど、効果的な事業を実施していきます。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:やや悪い状況にある D:大変悪い状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。  
今後、就職希望者の地元就職率などを検討することが望まれます。

施策名 若者の地元就職支援

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
若者ワークプラザ北九州運営事業 (若年者就業促進事業)			63,835 千円	6,135 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			63,835 千円						
(仮称)西部地区就業支援センター運営事業			26,389 千円	4,635 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			2,941 千円						
若年者求人開拓事業 (若年者就業促進事業)			14,623 千円	1,635 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			14,623 千円						
集まれ若者!キタキュー就職促進事業			3,337 千円	2,400 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			3,337 千円						
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	108,184 千円	14,805 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	84,736 千円		

局施策の  
21年度評価

**B**

【局施策評価】  
A:大変良い状況にある  
B:概ね良い状況にある  
C:概ね良い状況とまでは言えない  
D:不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582-2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援
	主要施策	若者の地元就職支援

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

事業名	若者ワークプラザ北九州運営事業 (若年者就業促進事業)					
-----	--------------------------------	--	--	--	--	--

事業の概要	何(誰)をどのよう状態にしたいのか。	若者ワークプラザ北九州の運営により、概ね40歳までの若年求職者に対して、就職関連情報の提供、就業意識や職業能力向上の機会の提供、希望や適性に合った職業紹介等を実施し、地元企業への就職を促進します。				
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	若者の地元就職支援	成果	若年者の就職数(若者ワークプラザ北九州利用者の就職決定数)	

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由
		当初計画	・若者ワークプラザ北九州を拠点に、若年求職者への就業支援を実施 ・利用時間の延長、日曜日開館				
実施状況	現状	・若者ワークプラザ北九州を拠点に、若年求職者への就業支援を実施 ・利用時間の延長、日曜日開館					
		成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	平成21年度		目標		
	カウンセリング利用者数(延べ数)(小倉のみ)	計画	7,500 人	年度	平成25年度		
	より多くの求職者に、より細かなフォローを行うことができているかを計る指標として有効と考えます。目標は、平成21年度実績の6%増の9,100人となりました。	実績	8,556 人	内容	9,100人		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]	事業費	63,835 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)			
		うち一般財源	63,835 千円	6,135 千円			
単年度計画							

### 【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	若者ワークプラザを拠点に、若年求職者への就業支援(就職関連情報の提供、就業意識や職業能力向上の機会の提供、希望や適性に合った職業紹介、など)を計画どおり実施しました。 雇用状況の悪化により、職業紹介を行ったものの企業選考で不採用になる事例が増える一方、求職者が希望しない求人もあります。22年度はミスマッチの解消を課題として対策を検討していきます。
------	-------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	平成21年度の若者ワークプラザ北九州での就職決定者数は約750名(小倉のみ)と、一定の効果は得られています。また、求職者の意識や能力の向上の手段として、カウンセリングやセミナーは有効だと考えます。(求職者と求人とのミスマッチ解消と利用者増加に向けての取り組みが課題。)
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	事業費の中に占める大きな要素である人件費(カウンセラー・スタッフの人数)や、賃料等(利用者の利便性を考慮した設置場所)は概ね適切だと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	景気低迷の中で、企業では雇用後に人材を育成する余裕がなく、若年者にとって厳しい雇用情勢となっています。若年者には就業意識の低下、スキル・経験の不足等、様々な就業への課題があり、雇用のミスマッチが拡大している状況です。事業停止の影響は極めて大きいと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	マッチングやスキルアップ講座などは民間でも実施されていますが、経費が必要なため、経済的に余裕がない雇用弱者や中小企業が利用できないなど、必要な支援を受けられないケースがあります。求職者・地元企業に対して幅広く、きめ細やかな支援が必要なため、市での実施が適切だと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了 セミナーの内容や開催頻度等の見直し、広報の充実、求職者と企業のミスマッチの解消等への対策が必要であると考えます。

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582-2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援
	主要施策	若者の地元就職支援

関連計画	
事業期間	平成21年度～
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

事業名	(仮称)西部地区就業支援センター運営事業
-----	----------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	若者ワークプラザ北九州・黒崎の運営により、概ね40歳までの若年求職者に対して、就職関連情報の提供、就業意識や職業能力向上の機会の提供、希望や適性に合った職業紹介等を実施し、地元企業への就職を促進します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	若者の地元就職支援	成果	若年者の就職数(若者ワークプラザ北九州利用者の就職決定数)

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	・若者ワークプラザ北九州・黒崎を拠点に、若年求職者への就業支援を実施 ・利用時間の延長、日曜日開館 ・若者ワークプラザ北九州・黒崎を拠点に、若年求職者への就業支援を実施 ・利用時間の延長、日曜日開館							
	実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		カウンセリング利用者数(延べ数)(黒崎のみ)						計画	2,700 人	年度
		より多くの求職者に、より細かなフォローを行うことができているかを計る指標として有効と考えます。平成21年度の実績2,568人が、8ヶ月間分だったため、12ヶ月換算した3,800人を基準として17%増の4,400人としました。						実績	2,568 人	内容
								達成度	95.1 %	4,400人
						計画	人	年度		
						実績	人	内容		
						達成度	%	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]						事業費	26,389 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	2,941 千円		4,635 千円
単年度計画	(この欄は空欄で構いません)									

**【事業の実施結果・進捗状況の確認】**

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	若者ワークプラザを拠点に、若年求職者への就業支援(就職関連情報の提供、就業意識や職業能力向上の機会の提供、希望や適性に合った職業紹介、など)を計画どおり実施しました。 雇用状況の悪化により、職業紹介を行ったものの企業選考で不採用になる事例が増える一方、求職者が希望しない求人もあります。22年度はミスマッチの解消を課題として対策を検討していきます。
------	-------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【事業の再検証】**

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか、	3	平成21年度の若者ワークプラザ北九州・黒崎(平成21年7月開設)での就職決定者数は約170名と、一定の効果は得られています。また、求職者の意識や能力の向上の手段として、カウンセリングやセミナーは有効だと考えます。(求職者と求人とのミスマッチ解消と利用者増加に向けての取り組みが課題。)
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	事業費の中に占める大きな要素である人件費(カウンセラー・スタッフの人数)や、賃料等(利用者の利便性を考慮した設置場所)は概ね適切だと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	景気低迷の中で、企業では雇用後に人材を育成する余裕がなく、若年者にとって厳しい雇用情勢となっています。若年者には就業意識の低下、スキル・経験の不足等、様々な就業への課題があり、雇用のミスマッチが拡大している状況です。事業停止の影響は極めて大きいと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	マッチングやスキルアップ講座などは民間でも実施されていますが、経費が必要なため、経済的に余裕がない雇用弱者や中小企業が利用できないなど、必要な支援を受けられないケースがあります。求職者・地元企業に対して幅広く、きめ細やかな支援が必要なため、市での実施が適切だと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	セミナーの実施、広報の充実、求職者と企業のミスマッチの解消等への対策が必要であると考えます。

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582-2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援
	主要施策	若者の地元就職支援

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

事業名	若年者求人開拓事業 (若年者就業促進事業)	
-----	--------------------------	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	若者ワークプラザ北九州における無料職業紹介に供する求人を確保するため、民間に委託して企業訪問を行い、求人開拓をします。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	若者の地元就職支援
		成果	若年者求人開拓獲得求人数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由
		当初計画	受託者による企業訪問件数 4,000件	受託者による企業訪問件数 4,500件	受託者による企業訪問件数 4,500件	受託者による企業訪問件数 4,500件	
	現状	同上	同上	同上	同上	同上	
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標
	企業訪問件数				計画	4,000 件	年度 平成25年度
	求人を出す企業が少なく中、平成21年度計画値の約10%増しを設定しました。				実績	6,841 件	内容 4,500件
					達成度	171.0 %	年度
					計画		内容
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]				事業費	14,623 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
					うち一般財源	14,623 千円	1,635 千円
単年度計画							

## 【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	経済状況の悪化から、新規雇用をする余裕がない企業が増え、結果として1社あたりの訪問時間の短縮により、企業訪問件数の増となりました。また、獲得求人数については、若者ワークプラザ北九州の特色をPRすることで例年並みの件数を確保できました。22年度からは市、求人開拓員、カウンセラーでの連絡会議をこまめに開催し、求職者のニーズに合った求人開拓を行っていきます。
------	-------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか、	3	若者ワークプラザ北九州の求職者のニーズに合うよう、より多くの求人を確保する必要があるため、企業向けの周知、求人確保の依頼の手段として訪問は有効であると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4:高い 3:やや高い	3 実施方法を随時見直すことにより、コストの削減を図っています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか、	2:やや低い 1:低い	3 雇用情勢が厳しいなか、若者ワークプラザ北九州での職業紹介に使用する求人情報が確保できなくなるため、就業支援に影響があると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	若者ワークプラザ北九州による就業支援に欠かせない事業であり、市の関与は必要だと考えます。

今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア 効率的で、効果的な実施方法について、今後においても随時検討していきたいと考えています。
--------	-------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------

# 事業評価票

<b>平成21年度実施事業</b>	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582-2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援
	主要施策	若者の地元就職支援

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

<b>事業名</b>	<b>集まれ若者！キタキュー就職促進事業</b>
------------	--------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市内外の学生の北九州地元企業への就職と市内定住の促進を図るため、地元企業情報の提供・マッチング機会の創出を図る取り組み(啓発)を行う。 (1)キタキュー就職ナビの運営 (2)就職イベント(合同会社説明会)の開催		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	若者の地元就職支援	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	(1)キタキュー就職ナビ: 掲載企業数 100社 (2)就職イベント(合同会社説明会): 参加企業数及び参加学生数 50社500人	85社 50社500人	100社 50社500人	100社 50社500人	100社 50社500人			
	実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		キタキュー就職ナビの掲載企業数						計画 100 社	年度 なし	
		地元企業情報の提供・マッチング機会の創出を図る取り組みを行っている。						実績 73 社	内容 100社以上	
		就職イベント(合同会社説明会)の参加企業数及び参加学生数						計画 50500 社人	年度 なし	
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度: 執行額]						事業費	3,337 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
								うち一般財源	3,337 千円	
	単年度計画	(この欄は、単年度計画の進捗状況を確認するための欄です。)								

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 景気に左右されるため、その都度適切に見直している。しかしながら、企業の採用意識を啓発し、また、学生に地元企業を紹介していくという観点から、引き続き事業を継続していく。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【事業の再検証】**

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	企業、学生の双方のアンケートの結果、満足が得られている。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	契約方法や実施方法を適宜見直しています。 (1)キタキュー就職ナビの運営[直営] (2)就職イベント(合同会社説明会)の開催[直営]
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	景気に左右されるものの、企業と学生の双方を啓発していくことが重要である。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	民間企業主催の就職情報サイトや就職イベントはあるものの、北九州地元就職を啓発する取り組みは必要である。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了	ウ	今後も継続して事業を進めていく。